

事業報告

令和4年度 一般社団法人さいたまスポーツコミッション事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

さいたま市及び周辺地域にあるスポーツ資源や特徴ある観光資源を最大限活用し、各種競技大会等スポーツ関連イベントの積極的な誘致等の事業を通じて、地域のスポーツ機会を創出することにより、地域スポーツの振興と地域経済の活性化を図ることを目的とする。

(2) 概況

① 設立年月日 平成30年12月10日

② 基金 1億1,450万円

③ 実施事業

ア スポーツイベント等の誘致に関する事業

イ スポーツイベント等の運営支援に関する事業

ウ スポーツイベント等の実施に関する事業

エ スポーツ施設等の管理運営に関する事業

オ スポーツビジネスの創出に関する事業

カ 前各号の事業のほか、当法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数 (令和5年3月31日現在)

会長 1人

常務理事 1人

理事 3人

監事 1人

(2) 令和5年3月31日現在の理事・監事

役職	氏名	就任年月日
会長 (代表理事)	遠藤 秀一	令和4年6月24日
常務理事(代表理事)	本田 秋満	令和4年6月24日
理事	北 清治	令和4年6月24日
理事	平岩 光現	令和4年6月24日
理事	佐野 秀彦	令和4年6月24日
監事	河合 あゆみ	令和4年6月24日

3 理事会及び総会の開催

(1) 理事会

開催日時	議決事項等
令和4年5月25日 (第1回理事会)	報告事項 職務執行状況の報告について 議案第1号 令和3年度事業報告について 議案第2号 令和3年度決算報告について 議案第3号 規程の制定について 議案第4号 会員の入会について 議案第5号 公益財団法人 JKA 補助事業の実施について 議案第6号 定時社員総会の開催及び日程について 議案第7号 定款の変更について 議案第8号 役員候補者の推薦について
令和4年6月24日 (第2回理事会)	議案第9号 役員の選任について 議案第10号 規定の制定について
令和4年9月26日 (理事会決議事項の提案)	議案第11号 契約の締結について 議案第12号 契約の締結について
令和4年11月4日 (理事会決議事項の提案)	議案第13号 契約の締結について
令和5年3月24日 (第3回理事会)	報告事項 職務執行状況の報告について 議案第14号 令和5年度事業計画について 議案第15号 令和5年度収支予算について 議案第16号 規程の制定について 議案第17号 役員賠償責任保険の加入について 議案第18号 契約の締結について

(2) 社員総会

開催日時	議決事項等
令和4年6月24日 (第1回総会)	報告事項 令和3年度事業報告について 議案第1号 令和3年度決算報告について 議案第2号 定款の変更について 議案第3号 理事及び監事の選任について

4 職員の状況

令和5年3月31日現在の職員

- ① プロパー職員 3人
- ② 契約職員 4人
- ③ 市派遣職員 7人
- ④ さいたま観光国際協会派遣職員 3人
- ⑤ 嘱託職員 1人
- ⑥ 臨時職員 2人

5 事業の実施状況等

1 スポーツイベント誘致・支援事業

(1) スポーツイベント誘致活動

各種スポーツ競技団体等に対して誘致を行った。

<令和5年度開催予定大会数>37大会 ※令和5年3月31日現在

(2) スポーツイベント支援活動

スポーツイベント開催助成金制度による財政支援、広報・PR、各種資料・情報提供、行政機関への調整等、主催者の要望に応じた各種運営支援を実施した。

<令和4年度支援大会数>47大会 ※49大会のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により2件中止

(3) スポーツ合宿誘致活動

自主管理施設「Sフィールド」を活用したスポーツ合宿の誘致を行った。

<令和4年度合宿開催数> 2団体：計11日間

(4) プロモーション活動

①スポーツイベントの誘致、スポーツツーリズムの促進並びに関係団体との交流拡大等を図るため、プロモーション活動を展開した。

- ・「Japan Sports Week 2022 スポーツツーリズム EXPO」

期間：令和4年5月11日(水)～13日(金)

会場：東京ビッグサイト 東展示棟

主催：Japan Sports Week 事務局

内容：SSCポスター掲示及びスポーツ施設利用案内パンフレット配布

- ・「スポルテック 2022 第9回スポーツイベント&ツーリズム支援 EXPO」

期間：令和4年7月27日(水)～29日(金)

会場：東京ビッグサイト東展示棟

主催：スポーツイベント&ツーリズム支援 EXPO 事務局

内容：SSC職員によるセミナー講演、

2022 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの告知チラシ配布

②本法人の活動を周知し、スポーツイベントやスポーツツーリズムの活性化等を図るため、SNSを活用した情報発信や商品販売によるプロモーション活動を展開した。

- ・スポーツイベント関連商品販売

販売開始：令和4年6月13日(月)～

販売品目：「さいたまアーバンスポーツ応援キャラクター アーバンくん」LINEスタンプ

(5) 経済波及効果調査活動

スポーツイベント開催助成金を支出したイベントを中心に消費額アンケート調査による個別基礎調査を実施するとともに、スポーツイベントにおける経済効果額を推計した。

<令和3年度経済効果推計額(令和3年4月～令和4年3月)> 約13.43億円

(6) 情報収集活動

- ①一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構(JSTA)との連携

スポーツツーリズムを推進する役割を担った全国的なネットワークを構築する同機構と連携を図りながら、各種スポーツイベント情報を収集した。

- ②日本スポーツマネジメント学会(JASM)との連携

スポーツマネジメント研究を行う同学会員と連携を図りながら、スポーツ業界関係者との情報交換を行った。

③プライドドリームス埼玉運営（PDS）との連携

埼玉県内トップスポーツチームとの交流及び連携を図るため、同団体の会計業務、情報発信を行った。

2 スポーツイベント開催助成事業

スポーツイベントの誘致及び開催の推進を図るため、スポーツイベント開催助成金交付制度を活用し、18件（総額12,355,000円）を助成した。

3 ウォーキングイベント開催事業

第11回さいたまーチ〜見沼ツデーウォーク〜

期間：令和5年3月25日（土）・26日（日）

会場：さいたま新都心及び見沼田んぼ周辺

コース：見沼田んぼ南ルート 26km・14km・7km/見沼田んぼ北ルート 26km・16km・10km

主催：一般社団法人さいたまスポーツコミッション、一般社団法人日本ウォーキング協会、NPO法人埼玉県ウォーキング協会、朝日新聞

共催：さいたま市、さいたま市教育委員会

参加者数：1日目1,457人 / 2日目1,022人（参加者、大会運営役員等含む）

4 スポーツシユール事業

(1) スポーツ施設運営事業

大宮けんぼグラウンドSフィールド（野球場8面・テニスコート10面）の管理運営及びイベント利用のセールス活動を行った。

貸出実績：野球場2,380件（95,200人）/テニスコート4,686件（46,860人）/合計7,066件（142,060人）

(2) バスケットボール活性化受託事業

さいたま市から委託を受け、東京2020大会のレガシーを創出するとともに、バスケットボール環境の整備と競技力の向上を図る「バスケファンプロジェクト」を行った。

実績：練習会8回 参加人数205人、フリースロー大会1回 参加人数152人、車いすバスケットボール体験イベント 参加人数30人

(3) 女子サッカー等活性化受託事業

さいたま市から委託を受け、女子中学生年代等のサッカーの活動場所等を確保するとともに、競技技術の向上、栄養管理等を図る「スマイルプロジェクト」を行った。

実績：練習会11回、大会参加1回、交流試合2回、参加人数延べ236人

(4) テニス活性化事業

Sフィールドテニスコートを活用した自主事業として定期的な主催大会を開催し、収益化を図る「Sフィールドカップ」を行った。

実績：大会11回、参加人数延べ1,531人

(5) アーバンスポーツ活性化事業

東京 2020 大会を契機に認知度が高まった BMX やスケートボード、3X3 をはじめとしたアーバンスポーツの振興を図る「アバスポさいたま」を行った。BMX、スケートボード、ダンス等体験イベントや、アーバンスポーツができる場所の開設に向けた実証実験、スクールキャラバン活動、アーバンスポーツ関係団体等による公民連携組織設立に向けた情報交換会を実施した。

実績：体験イベント 5 回、参加人数延べ 1,030 人、実証実験 2 回、参加人数 296 人

(6) スポーツイベント受託事業

①さいたまシティカップ市民交流イベント

令和 4 年 11 月 16 日に、さいたまシティカップとして、浦和レッドダイヤモンズとアイントラハト・フランクフルトの試合を行った。大会を共催するとともに、サッカークリニックや一般公開練習、浦和レッズ OB トークショー等の市民交流イベントを実施した。

②オランダ王国交流ウォーキング大会

東京 2020 大会のレガシー継承を目的に、さいたま市がホストタウンを務めたオランダ王国民とさいたま市民が交流するウォーキング大会を令和 5 年 3 月 29 日に開催を予定していたが、令和 4 年 12 月時点の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて、オランダ側からの申し出により開催を中止した。

③未来の教室実証事業

経済産業省から委託を受け、学校部活動の地域移行化に向けた研究、検証のため、市立片柳中学校において、地域部活動受け皿モデル構築の実証実験を行った。

④Sport in Life 推進事業

スポーツ庁から委託を受け、Jリーグ・WEリーグの試合観戦者をターゲットに、地域を巡りながら魅力を発見する WEB プラットフォーム（めぐろーかる）を活用して、最寄り駅からスタジアムへ直行するだけでなく、まち巡りによる回遊を促す実証実験を行った。

(7) スポーツを科学する生徒の育成事業

さいたま市から委託を受け、ICT を活用し、浦和南高等学校及び内谷中学校の運動部活動において「スマート部活動」の推進に係る研究を行った。また、植竹中学校の体育・保健体育授業においては「コーディショニング教育」の推進に係る研究、沼影小学校、植竹小学校では、6 年生の体育授業において「STEAMS TIME」モデル授業研究を支援した。

(8) スポーツチーム運営支援事業

Bリーグバスケットボールチーム「さいたまブロンコス」の事務局業務を受託し、運営支援を行った。

5 さいたまクリテリウム開催事業

2022 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの開催

令和 4 年度は、3 年振りに開催。第 8 回を数え、その年のツール・ド・フランスでの総合優勝者を含む各賞ジャージ獲得者やステージ優勝選手らが参加する国内唯一の大会として実施した。併設イベントとして、食の祭典「さいたまるしえ」、自転車関連イベント「サイクルフェスタ」も開催。

日 程：令和 4 年 11 月 6 日（日）

会 場：さいたま新都心駅周辺

主 催：一般社団法人さいたまスポーツコミッション

共 催：埼玉県、さいたま市、A.S.O.

特別協力：さいたまクリテリウム推進委員会

競技主管：公益財団法人日本自転車競技連盟

後援：経済産業省、観光庁、スポーツ庁、自転車活用推進本部

一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構

プレゼンティングスポンサー：JCOM株式会社

オフィシャルメディアパートナー：朝日新聞社、読売新聞東京本社

放送：J:テレ/ど・ろーかる 11月6日(日) 14:30~17:30

J SPORTS 11月6日(日) 14:30~17:30

YouTube ライブ配信 11月6日(日) 12:50~17:30

J SPORTS サイクルロードレース公式アカウント

テレビ埼玉：11月3日(木・祝) 19:00~19:30

NACK5：10月22日(土)~11月5日(土)

内容：(1) クリテリウムレース (海外招聘選手、国内選手によるレース)

(2) タイムトライアルレース

(3) コース及びイベント会場での一般参加体験イベント

(4) スポンサー企業・自転車関連企業のPRブース

(5) パブリックビューイング

来場者数：さいたま新都心駅周辺 約10万1千人 (11/6)

さいたまるしえ 約6万4千人 (11/5 約1.4万人 11/6 約5万人)

サイクルフェスタ 約2万8千人 (11/5 約6千人 11/6 約2.2万人)

協賛企業 56社

オフィシャルサポーター ・法人：85口

・レース満喫プラン：100口

・アリーナスタンド観戦プラン：1,400口

・コース沿道観戦プラン：820口

経済波及効果：約26億1,600万円 (市内：約9億5,800万円 県内：約8億2,900万円)

広告換算値：約7億5,400万円 (国内：約2億3,000万円 海外：約5億2,400万円(1ユーロ=147.55円換算))

6 自転車文化醸成事業

・自転車乗り方教室

自転車に乗れない子どもを対象にした自転車乗り方教室及びキックバイク体験を市内10区で企画した。

申込者 1,592人

参加者 257人

キックバイク体験参加者 79人

7 ランニングイベント開催事業

・さいたまランフェス2022-23

3年振りに公道を利用した大会として開催。関連イベントとして、アーバンスポーツや、協賛企業による野球、サッカー、ラグビーなどの体験ブースも実施した。

期日 2023年1月21日(土)、22日(日)

会 場 浦和駒場スタジアム周辺
内 容 ハーフマラソン、チームラン、親子ラン、車いすラン 等
主 催 さいたま市、一般社団法人さいたまスポーツコミッション
参加者 6,891 人

8 事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。